富士吉田キャンパスの思い出

医学部1年
平野真穂

富士吉田でのイベント

4月から富士吉田で寮生活を始めて6月の終わりごろには寮祭がありました。時期が早すぎるのではないかという不安もありましたが、実際にはとても楽しかったです。具体的にはコンパや部活で屋台を出したり、ステージで友達がダンスや歌を披露したり、最強のコンパを決めるイベントに参加したりしていました。周りの人もとても楽しそうで、この寮祭をきっかけにコンパや部活の仲がより深まっている様子でした。また、この寮祭の直前に吉田でのカップル、俗に言う「吉カップ」も増え、寮祭の最後にあがる花火を一緒に見ている姿は、それはそれは幸せそうでした。

そして後期に入り、ハロウィーンの時期が近づくとハロウィーンパーティーが中央委員主催で開催されました。この時期になると知り合いも増えていたため、寮祭の時よりもより多くの人との楽しい思い出を作ることができました。

最後にいよいよ寮生活最後のイベントであるクリスマスパーティーが12月に開催されました。そのイベントで私は装飾部門の部門長をやらせていただきました。さまざまな人のおかげで、自分の予想を遥かに上回るすばらしい装飾ができました。本当にありがとうございます。そして、みんなとわいわいする心地のよい時間を提供してくれた立食パーティーがあり、誰でも楽しめるイベントがあり、最後の締めくくりにふさわしい花火があり、とても充実したクリスマスパーティーでした。

寮生活でのイベントがあったことでさまざまな人との交流もうまれ、より寮生活が楽しくなりました。最初は不安もありましたが、寮生活は私にとって楽しい思い出です。

歯学部1年
寺澤晃

スチューデントインストラクターで得たもの

私は昭和大学主催の公開講座をはじめ、富士吉田市近辺で開催されたイベントのお手伝いなど、数多くのSI（スチューデントインストラクター）活動に参加しました。

その中で、最も印象に残ったものは「富士登山競走」のSIです。富士登山競走は、富士山の麓から山頂を目指すというとてもハードなマラソン大会で、参加者の中にはレース中に体調を崩したりけがをする方もいらっしゃいます。そのため、コースに救護班が配置され、私たちはそのお手伝いをさせていただきました。

活動の内容は、私が目指す歯科とは直接関係があるわけではありませんでした。しかし、救護班の方々と接していくことで、自身の知らない分野や関連性について学ぶことができました。知見を広げるという点や人とのコミュニケーションの取り方を身に着けるという点で、SIの参加はかけがえのない体験となりました。また、SIの活動を通して、多くの友人ができました。SIの活動は堅苦しいものばかりではなく、楽しむことができました。二年次以降も積極的に参加したいと思います。

薬学部1年
米田亜希

初年次体験実習を経て

私が一年間の学習を振り返って印象的だったのは、初年次体験実習での施設実習です。

施設実習では山梨県立甲府支援学校に行きました。甲府支援学校には小学生から高校生までの肢体不自由のある児童・生徒が通っていて、私は中学生のクラスにお世話になりました。中学生といっても身体はとても小さく、会話をすることは難しい状態でした。はじめはどのようにコミュニケーションをとれば良いかわからず、自分から生徒に関わることがあまりできませんでしたが、生徒の表情や手の動きなどに注目しながら接することを心がけると、生徒の気持ちがだんだんと読み取れるようになりました。この経験から、コミュニケーションのとり方の多様性を学びました。言葉にしなくても心は通じ合うとわかり、とても良い経験になりました。

また、担当の先生から相手の身になって物事を考える大切さを教えていただきました。どのような介助をしたら相手は嬉しいか考えて、必要な介助を行うようにしました。相手の立場になるというのは医療の現場だけでなく、日々の生活の中でも大切なことだと思います。

相手のことを常に親身に考えて、思いやりのある人になるため、初年次体験実習で学んだことを将来に生かしていきます。

保健医療学部
看護学科1年
相川美優

寮生活について

私は2017年の春に保健医療学部看護学科に入学し、これから始まる寮生活に対して不安を感じつつも、新たな生活にドキドキしながら富士吉田キャンパスへ向かいました。

寮生活について初めの印象は、楽しそうだけど住み慣れた地元からわざわざ富士山の麓で他人と生活するなんて、きっと疲れるし大変だろうと考えていました。

実際の共同生活は、周りに迷惑を掛けないように配慮をするなど気を使うことが多かったです。きっと私だけではなく入学してきた学生みんなが感じていたのではないかと思います。けれど、お互いが気持ちよく生活していけるよう、対立せず、中立的な意見を模索し、納得がいくまで話し合いをしました。そうしているうちに、相手を尊重し思いやることの大切さ、また相手の気持ちになって考えることの重要性に改めて気づくことができました。寮生活だからこそ経験できたことだと思います。

また、一緒に共同生活をすることで、大学受験はどうだったか、みんなの生い立ちやどうして医療の道を選んだのかなどのエピソードをたくさん聞けたことも、今後看護師を目指している自分にとっては大きな変化につながるものでした。

さらに、Medical All Stars Jazz Orchestraというジャズ音楽の部活でドラムやギター、ベースなどのリズム楽器のリーダーという役職を務めさせてもらうことで、たくさんの部活の仲間と出会い、関わることで多くの経験や体験をすることができました。

今まで一緒に生活をしてくれたたくさんの友達やともに頑張ってきた部活の仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。

富士吉田キャンパス 退寮式

全寮制による初年次教育を行う富士吉田キャンパスで1月17日、退寮式が執り行われ、581人が10か月におよぶ寮生活に別れを告げた。

式は富士吉田スクエアガーデンで行われ、寮生活を支えてくれた赤松寮、百合寮、白樺寮、そしてすみれ寮の寮監にそれぞれ、学生から感謝の言葉と花束が贈られた。

また、スチューデントインストラクターとして授業の実施補助や行事の支援などの活動を行った歯学部の寺澤晃さんに感謝状が贈呈された。

昭和大学医学部同窓会では
所得補償保険、傷害疾病保険、
医師賠償責任保険等、
各種補償制度を取り扱っております。
取扱代理店：
昭友商事株式会社
TEL：03-3784-8280
http://www.shoyu-trading.com

医学堂書店
品川区
旗の台
電話(03)
3783-9774